



19日

「小宮の田植え踊り」(上)、「比叢の三匹獅子」(下)が、オープンを祝いこの日は全編を披露

伝統芸能とキャラクターショー

特設ステージで、村の伝統芸能が披露されました。また、村の公式キャラクター「イタネちゃん」も、ゆかりの市町村のご当地キャラクターと一緒に登場。会場を盛り上げました。



左から、ふなやん(伊根町)、イタネちゃん、もりん(福島市)、ペリーちゃん(鹿沼市)、司会は、までい大使の菅原美智子アナウンサー

災害救助犬じゃがいもら愛犬が里帰り

12日



訓練の成果を披露する上村さんとじゃがいも

岐阜県のNPO法人「日本動物介護センター(山口常夫理事長)」から、災害救助犬じゃがいもらが里帰り。じゃがいもは、「飯館村わんだふるまでい大使」の任命を受け(詳細P17)、訓練士の上村智恵子さんと災害救助のデモンストレーションを披露しました。また、同センターから高野守さん(関沢)の愛犬など計3頭が帰村しました。



犬の家も建て替えたんだよ

高野さん夫婦(右の2人)と愛犬の大和・小春



までい館は、たくさんの人の思いから生まれ、これからも育まれていきます

8月11日から25日までのできごとをダイジェストで紹介します



世界をスマイルでいっぱいになりたい



堀口さん

村民の笑顔が道の駅を飾る

道の駅の中と外に、村民の笑顔を書した70枚を越える特大写真が飾られました。撮影したのは写真家の堀口マモルさん。株式会社日本HPがプリントを支援くださいました。

12日

福大の交流イベント&ラジオ福島生放送

20日

ラジオ福島の公開生放送。この日交流イベントを催した福島大学の先生や学生も出演し、村の魅力や村とのつながりを紹介しました。



「何度でも足を運びたい」。福島大学の黒大太郎准教授(右から2人目)と3年生の阿部峻己さん(右端)



笑顔で迎えてくれてありがとうございます!

寛平さん(左から2人目)のゴールを、菅野村長とイタネちゃんが歓迎しました

間寛平さん「みちのくマラソン」で来場

間寛平さんが東北の被災地を走って各地に元気を届ける「みちのくマラソン」。12日間の行程の5日目は、村の道の駅にゴールしました。ゴールで菅野村長とガッチリ抱き合った寛平さん。マラソンを共につなぐ吉本興業の芸人たちと、イベント広場でお笑いライブを開き、「大変やけど、がんばろうな」と来場者を励ました。

16日

休業日のお知らせと9月からの営業時間

ご利用ありがとうございます。までい館は9月から毎週水曜日を定休日とします。また、9月から3月末までの営業時間等は以下の通りです。

までい館 10:00~18:00 水曜定休
コンビニ 6:00~20:00 年中無休
公衆トイレ 24時間 年中無休



村の特産品や野菜・花きの他、ゆかりの市町村の魅力ある特産品も目白押しです

いいたて
までい館
いいたて村の道の駅

までい館来場者5万人を達成!

25日



びっくりしましたがうれしいです!

家族で茨城県の見城の浅し

お盆の帰省客や旅行客の来場が予想を大きく上回り、なんと開業からわずか2週間で、来場者数が5万人を突破。5万人目の来場者にコショウランを贈りました。



花玉の下で楽しむ無添の食事も大人気!

ランチタイムは11:00~14:00



お米を食べてやる気!元氣!

夢川ゆいちゃんの撮影会を開催

アニメ「アイドルタイムプリパラ」の主人公の1人、夢川ゆいちゃんの撮影会を開催。遠来のファンや道の駅の来場者が、交流を楽しみました。ゆいちゃんは電子ジャーを持ち歩くほどのご飯好きで、JA全農の「お米応援大使」を務めています。お米の魅力を伝えつつ、道の駅のPRにも一役買ってくれました。

15日



©T-ARTS/syn Sophia/テレビ東京/IPP製作委員会



雪のすべり台が登場 楽しい縁日コーナーも



オープンに合わせて、北海道倶知安町の「くっちゃん21雪ダルマの会/柏谷匡胤(まさつぐ)会長」が来場。雪のすべり台と雪だるまを作り、来場者を楽しませてくれました。すべり台で歓声があがるイベント広場には、その他、縁日コーナーも設けられ、子ども連れで大いににぎわいました。

12日



作品名「までい讃歌」

道の駅のシンボルとなるモニユメント 制作者の重岡建治さんが来場し村長と除幕

彫刻家・重岡建治さんの作品「までい讃歌」「までいと共に」の2つの彫刻が、道の駅の入り口に設置され、竣工式に合わせて、除幕が行われました。また、重岡さんから寄贈をいただいた、彫刻をあしらった木製のベンチは、情報コーナーに設置されました。

村再生の願いを作品にこめました



重岡さん